

輸送動向について（平成23年度第3－四半期）

平成24年1月

1. 輸送概況

第3－四半期は、東日本大震災に伴う常磐線の不通に加え、12月に東北線での強風による輸送障害等が発生し、第3－四半期全体では高速貨337本、専貨5本（内、東日本大震災に伴う運休は高速貨259本）が運休した（前年同期間は、高速貨180本、専貨10本が運休）。

荷動きについては、震災による生産活動の低迷に加え、欧州の経済危機による景気悪化及び歴史的な円高に伴う輸出産業の販売減の影響もあり、前年を大きく下回った。

コンテナ貨物は、農産品・青果物、自動車部品等が前年を上回ったものの、紙・パルプ、家電・情報機器等が前年を下回り、全体では前年比95.9%となった。自動車部品は、メーカーが震災に伴う減産から増産体制へと転じたため大きく増送となった。一方、紙・パルプは東北地区の生産拠点の被災により大幅な減送となった。また、家電・情報機器は昨年12月の家電エコポイント制度変更前の販売増があったことから本年は大きく減送となった。

車扱貨物は、石油等が前年を上回ったものの、セメント・石灰石等が前年を大きく下回り、全体では前年比96.9%となった。セメント・石灰石は、台風12号による線路の不通の影響により11月上旬まで輸送が中断し大きく減送となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別	3－四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,369	5,596	95.9%
車扱	2,734	2,821	96.9%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	634	606	28	104.6%
	化学工業品	500	525	-25	95.2%
	化学薬品	380	407	-27	93.4%
	食料工業品	824	848	-24	97.2%
	紙・パルプ	702	819	-117	85.7%
	他工業品	422	414	8	101.9%
	積合せ貨物	575	599	-24	96.0%
	自動車部品	239	217	22	110.1%
	家電・情報機器	116	148	-32	78.4%
	エコ関連物資	90	94	-4	95.7%
	その他	886	918	-32	96.5%
	コンテナ計	5,369	5,596	-227	95.9%
車扱	石油	1,994	1,985	9	100.4%
	セメント・石灰石	262	316	-54	83.0%
	車両	238	280	-42	84.9%
	その他	241	240	1	100.3%
		車扱計	2,734	2,821	-87

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）